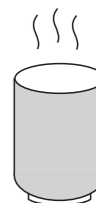


2 輪 走 行 時 注 意 点 の ご 案 内

「スポーツ走行のお作法」

その中」



走行前 & パドック

ポイ捨て禁止

- ・プラットホーム
- ・ピットレーン
- ・ピットガレージ



タバコは灰皿のある所で吸うこと。

ピットエリアでは禁煙となっているので、ルールを守ること。吸い殻のポイ捨てはみっともないので、狙いは灰皿に絞り、的を外さないようジェントルに捨てること。

ゴミのポイ捨てもしないこと。

空気圧のマナー

サーキット走行でのタイヤの空気圧は冷間時 2.0 kg / cm²程度、温間時 2.4 kg / cm²程度にしておくこと。街乗り仕様の冷間 2.4 kg 等チャレンジな空気圧で跳ね回らないこと。推奨空気圧は、モデル毎に異なるので各タイヤサービスに問い合わせること。

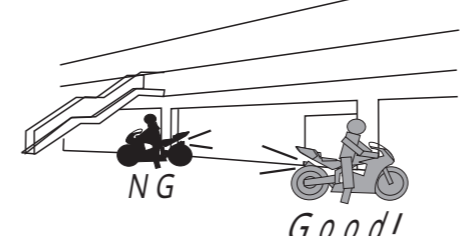
hop-step-jump



暖機運転のマナー

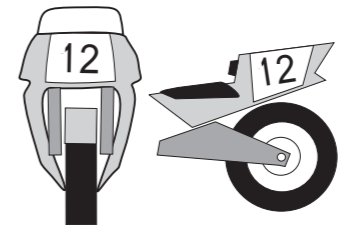
エンジンの暖機をする場合は、排気管の向きに注意し、ピットガレージ内に向けて青い煙を噴射したり、会話が出来ない程ふかし上げたりしないこと。回転数を上げる必要があるときは、ピットガレージから離れて行うこと。

Bad noise and smoke!



ゼッケンの貼り付け

車両の3カ所にゼッケンを貼り付けて走行すること。字体は走行時に判別の容易な書体を使用すること。



よい例 = **1234567890**

悪い例 = 1234567890

パドックのマナー

パドック内の移動は 20 km / h 以下で。死角の多いパドックでは、接触事故が頻繁に起きます。十分な見張り、十分なスピードコントロールを怠らないこと。



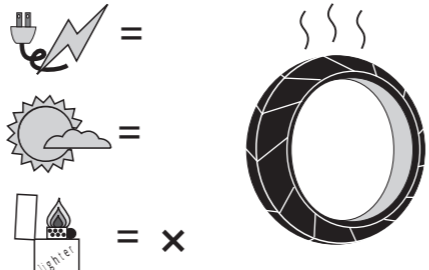
また、Bパドック内で駐車する場合は、周りの人が一酸化炭素中毒にならないようエンジンを停止すること。

Carbon Monoxide



冬場のマナー

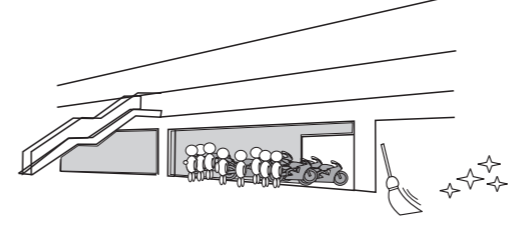
走行開始時にピットレーンで転倒している人を見て、「寒い=ゴムは硬い」の公式を理解すること。タイヤを暖めるときはウォーマーを使用し、忘れたときも太陽ウォーマーを有効に活用すること。



ピットガレージのマナー

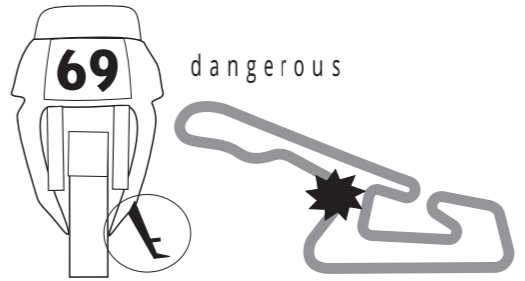
ピット内は清潔を保ち、走行に関係のない備品を広げて専有してしまわないこと。参加者全員がピットガレージを利用できるように譲り合い使用すること。また、使用後のピットガレージ内は、次に使用する人のためにも清掃しておく事。

Clean up!



サイドスタンドのロック

サイドスタンドは戻した状態でタイヤップやゴムバンド等で留めておくこと。出来ることなら取り外し、コースイン直後・2コーナーでの転倒を未然に防ぐこと。



自己責任

充分安全に配慮したサーキットでも、必ず事故は起こりますので事故が起きたときには自己責任で対処しましょう。

サーキットでの走行およびレースは各自の自己責任の上で成り立っています。起きてしまった事故を他人のせいにして賠償請求などをしないこと。

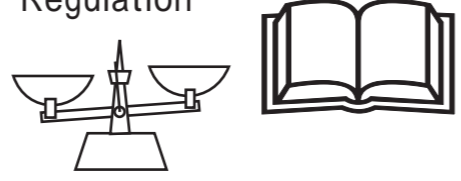
Self responsibility



ルールを守ろう

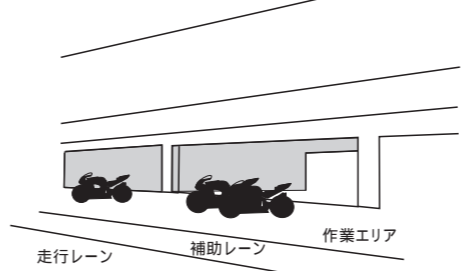
サーキット走行、レースの参加にあたっては必ずルールを確認し、走行に望むこと。ルール・規則を読まずに、「知らない」「読んでいない」と言って傍若無人に振る舞わないこと。他人を危険にさらしたり、自分だけ卑怯な事をしているのと同じ事だと言うことを忘れないこと。

Regulation



ピットレーンのマナー

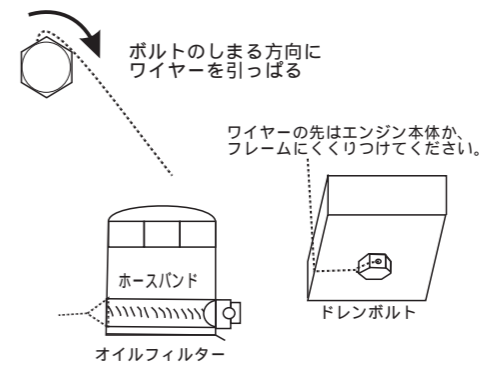
該当走行時間外でのピットレーン使用は禁止となっているので、他クラスの走行時間中に作業エリアで撮影会をしたり、ピットレーンに車両を並べたりしないこと。



ピットレーン(作業エリア・走行レーン)は該当走行枠の車両のみ使用出来ます。

ワイヤーロック

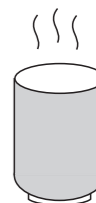
2S走行時はオイルドレンボルトにワイヤーロックをしておくこと。また、使用済みのステンレスワイヤーをまき散らし、ピット内にトラップを仕掛けないこと。



2 輪 走 行 時 注 意 点 の ご 案 内

「スポーツ走行のお作法」

その式



オーバーテイクのマナー

オーバーテイクする場合は、ラインがクロスしないよう注意すること。抜いた直後にラインを塞いでしまわないこと。

黄旗区間でのマナー

黄旗区間ではジェントルにスローダウンし、追い越し禁止で走行すること。決してレーシングスピードで現場を通過しないこと。

ピットレーンのマナー

ピットレーンは走行レーン（通過路）と作業エリア（停止区域）に分かれていますので、緊急会議や緊急オベを行う場合は、作業エリアでつましく行うこと。

コースインのマナー

1 コーナー立ち上がりまではコースの右端を走行し、急激な走行ラインの変更など行わないこと。コース上後方から接近している車両にジャックナイフ（ストップ）を強要しないこと。

ナラシ走行のマナー

ナラシ走行時は上体を起こし、右端を走行すること。右がわからない場合は、お箸のたとえではなく、「北を向いて東側＝右」で認識すること。

青旗提示の際のマナー

青旗を提示された際は、後方から速い車両が来ているので、イン側のラインを1本分だけ、スキを見せること。切り返しがある場合は、ラインがクロスしない様注意すること。

コースアウトのマナー

コースアウトして砂利の部分で停止した場合は、速やかに降車し、押しながらかたまりすること。再スタートは、後方確認をし邪魔にならない様に行うこと。また、アンダーカウルに砂利はたたき落としてからコースインすること。

ピットインのマナー

ダブルヘアピン1つ目出口より右端を走行しピットインすること。また、2カ所で後方のライダーに手や足などで合図をし、無用な争いは避けること。

ショートカットの禁止

2番ポスト先のショートカット路をやむを得ず使用する場合は、後続に注意し、パドックへアウトすること。決して12番ポスト横から再スタートしないこと。

ペースダウンのマナー

レーシングスピードからペースダウンする場合は、上体を起こす、手で後方に合図、右端に寄る、アクセルを戻す。の順で行うこと。順番を間違えてアクセルを先に戻してしまわないこと。

転倒後のマナー

不覚にも・・・転倒してしまった場合は、素早く状況判断し、再スタート出来ない場合は金網の外側から見学すること。息絶えた愛機の周りにとどまり赤旗原因にならないこと。

ピットレーンのマナー

食事制限は破っても、速度制限は守るよう慎重に走行すること。あまりの遅さにイライラしてピットレーンでウイリーをかまさないこと。

60 = 50 km/hでも 40 km/hでも いいのだよ!